

整理番号	3-①	担当課	総合政策課
------	-----	-----	-------

戦略分類	戦略3 「若さ」集結！みなぎる活力創生戦略！		
------	------------------------	--	--

戦略事業名	① おおい若者まちづくり塾(仮称)		
-------	-------------------	--	--

予算事業名	おおい若者まちづくり塾開催事業		
-------	-----------------	--	--

平成29年度実績額	2,994,735円	平成30年度予算額(6月補正後)	3,219,000円
-----------	------------	------------------	------------

事業の概要(実績)	H27	H28	H29
	<p>第2次おおい町総合計画・おおい町未来創生戦略の策定に向け、町内企業や事業所等の協力を得て、若者を対象としたワークショップを全6回開催した。</p>	<p>前年度のワークショップを継承する形で、選抜メンバーや新メンバーによる「おおい町未来仕掛け人会議」を全11回開催した。 ぶらっとで開催された音楽イベント「レッドシューズ」に、地元食材を活用した「しし肉コロッケ」等を販売し、まちづくり事業への参加とともに、団体をPRした。</p>	<p>新メンバーを加えた「おおい町未来仕掛け人会議」を15回開催した。 また、ウーマンラッシュアワーと「おおい町の未来を考える討論会」への参画や講師を招いた勉強会を実施した。 加えて、大火勢のステージでの活動PRや活動の様子を記載したチラシを町内に全戸配布するなど団体をPRした。</p>



講師を招いての勉強会

成果を測る指標(KPI・数値目標)	参加者数		⇒	現 状		KPI達成率(%)
	基準値(平成26年度)	—		H29年度末	328人	
	目標値(平成31年度末)	累計 500人		H30年6月末	351人	70.2

① 数値目標達成状況		達成が見込める状況
達成状況の要因分析		達成に向けての今後の取組方針
<p>未来仕掛け人会議は年間10回程度開催し、各会議に10人程度のメンバーが参加していることに加え、討論会の開催によって、63人の町民が参加している。</p>		<p>昨年同様、年間10回程度の会議の開催に加え、町内外の講師による勉強会を2回実施する。</p>

② 事業で得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)	
ノウハウの内容	<p>会議ではメンバーの意見がまとまらず、活動内容や目的が決まらなかったため、本会議から自主的なイベントの実施できていない。少人数制にすることで、意見をまとめやすくする必要はある。</p>
ノウハウの活用状況・活用方針	<p>年度初めに活動内容(実施内容、スケジュール)について検討し、少人数の部会制を採用することで、様々な分野の取組みを行うことができる。</p>

③ 外部評価結果の反映	
平成29年度外部有識者評価委員会における意見	意見への対応
<p>他事業においても若い世代の視点を反映できるように取り組まれない。</p>	<p>少人数の部会制をとることで、勉強会の実施、イベントの企画・実施、活動の情報発信など様々な分野に取り組んでいる。</p>

④ 事業成果
<p>平成27年度から平成29年度にかけて若者ワークショップ、おおい町未来仕掛け人会議、おおい町の未来を考える討論会を実施し、累計328名が参加した。</p>

⑤ 内部評価結果
<p>KPIについては目標達成に向け順調に推移しているが、議論を行動に移した成果が見えない状況なので、まちづくりに向けた具体的な取組みを促していく必要がある。</p>

外部有識者評価委員会の結果	
<p>【評価結果・指摘】 他の事業との連携を図ることで、本事業の効果を一層高められたい。</p>	

整理番号	3-②	担当課	住民福祉課
------	-----	-----	-------

戦略分類	戦略3 「若さ」集結！みなぎる活力創生戦略！
------	------------------------

戦略事業名	② 若者出会い・交流応援事業
-------	----------------

予算事業名	若者出会い交流応援事業
-------	-------------

平成29年度実績額	519,105円	平成30年度予算額(6月補正後)	1,924,000円
-----------	----------	------------------	------------

事業の概要（実績）	H27	H28	H29
	—	<p>今庄そば道場でのそば打ち体験及び三方五湖レインボーライン観光等を通じた日帰りバスツアー交流を実施(男性10名・女性9名参加)</p> <p>クリスマスパーティー企画として、軽スポーツやイチゴ狩り体験を通じた交流イベントを実施(男性7名・女性4名参加)</p> <p>民間の企画立案により実施した、福井県住みます芸人「飯めしあがれこれにお」氏をメインパーソナリティーとした交流イベントに対する補助(男性9名・女性8名参加)</p>	<p>八ヶ峰家族旅行村を会場に大自然の中での「アウトドア婚活」をテーマとした交流イベントを実施。男性参加者対象にセミナーも実施(男性9名・女性7名参加)</p> <p>WAKASAハニーセッション実行委員会の企画立案により実施した、地元アマチュアバンドの音楽ライブ観覧による婚活イベントに対する補助(男性12名・女性12名参加)</p>



「交流イベント」チラシ

成果を測る指標 (KPI・数値目標)	出会いの場イベント参加者数		⇒	現 状		KPI達成率 (%)
	基準値 (平成26年度)	—		H29年度末	87人	
	目標値 (平成31年度末)	累計 240人		H30年6月末	110人	45.8

① 数値目標達成状況		達成が厳しい状況
達成状況の要因分析		達成に向けての今後の取組方針
行政主体の事業と、民間団体等による魅力的な企画立案事業を組み合わせることで、目標値の達成を目指す。		行政主体の事業について、魅力的な企画に努めるとともに、補助金申請団体の掘り起こしにより、例年以上の実績確保を目指す。

② 事業で得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)	
ノウハウの内容	行政主体事業のみでは、参加対象や交流場所が町内等狭域に限定されてしまうことで、どうしても敬遠されがちな傾向となるため、より広域的な男女の出会いの場を提供していた観点から、民間団体への補助事業を新たに創設した。
ノウハウの活用状況・活用方針	平成28年度から「おおい町若者出会い・交流応援事業実施要綱」を策定し、1事業につき30万円を上限額として、若者の出会いの場を積極的に創出するイベントの実施団体に対する補助事業を実施。2団体の実績有り。

③ 外部評価結果の反映	
平成29年度外部有識者評価委員会における意見	意見への対応
地方創生の核心であるとも捉えられるため、今後とも継続的かつ積極的な取組に努められたい。	柔軟な発想でのイベントを考案できるよう、補助事業枠の申請者を、町内のみから県内に拡大した。

④ 事業成果
行政主体事業においては、女性参加者の趣味趣向にポイントを置いたプログラムでの募集により、終始和やかな雰囲気の中でイベントが進行し、平成28年度に2組、平成29年度に1組の累計3組のカップリングや、次回イベント時のリピーター等も見込まれる結果を残せた。 民間団体補助事業においては、2団体が事業を行っており、平成28年度に3組のカップリング、平成29年度参加者で3組(男女とも町外)の成婚となった。

⑤ 内部評価結果
民間団体への補助事業の創設や、補助対象団体の拡大を行ってきたが、KPIの達成は厳しい状況なので、新たな団体の掘り起こしに加え、参加者が主体的に取り組む交流の場づくりを検討する必要がある。

外部有識者評価委員会の結果	
【評価結果・指摘】 委員のなかでも本事業への期待は大きい。 他の事業との連携を図ることで、本事業をきっかけとした若者の出会い・交流がより一層増えることを期待したい。	

整理番号	3-③	担当課	総合政策課
------	-----	-----	-------

戦略分類	戦略3 「若さ」集結！みなぎる活力創生戦略！
------	------------------------

戦略事業名	③ 学生政策コンテスト事業
-------	---------------

予算事業名	官学連携事業
-------	--------

平成29年度実績額	3,686,035円	平成30年度予算額(6月補正後)	4,480,000円
-----------	------------	------------------	------------

事業の概要（実績）	H27	H28	H29
	—	<p>関西の7大学から9チームがまちづくり政策コンテストに参加し、提言に向け事前に取り組むフィールドワークにおいて約70名の学生が町内で活動を行った。</p> <p>9件の政策提言のうち、関西学院大学の「就農・起業女子応援事業」が最優秀賞となり、平成29年度に「就農・就業女子応援事業フォーラム」「掘って、起こして、恋をしてバスツアー」「地域活性化情報誌の作成」が事業化された。</p>	<p>関西のほか、九州、島根から計6大学の7チームがまちづくり政策コンテストに参加し、提言に向け事前に取り組むフィールドワークにおいて約50名の学生が町内で活動を行った。</p> <p>7件の政策提言の中から、関西大学の提案より「養蜂研究委託事業」、近畿大学の提案より「ふるさと納税を利用した空き家見回りサービス」「お試し住宅の新規運用」が平成30年度に事業化された。</p>



成果を測る指標 (KPI・数値目標)	政策提案数		⇒	現 状		KPI達成率 (%)
	基準値 (平成26年度)	—		H29年度末	16件	
	目標値 (平成31年度末)	累計 35件		H30年6月末	16件	45.7

① 数値目標達成状況		達成が見込める状況
達成状況の要因分析		達成に向けての今後の取組方針
町内外へ広くPRするとともに、政策コンテストだけでなく町のイベントへの参画や農業体験等を通じて学生との継続的な交流を図っている。		町外の大学等の学生チームだけでなく、町内住民グループからの提言も募集する。

② 事業で得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)	
ノウハウの内容	1回目と2回目においては、政策テーマを「移住・定住・交流人口の拡大につながるまちづくりのアイデア」とし、大きな方向性を示した内容としていたが、参加チームからの提言は、農林水産や観光といった産業分野に偏重する傾向があり、また本町が直面する課題に適應していない提言もあった。また、大学の他行事等との重複により、フィールドワークに参加できなかった学生が、1回目、2回目を合わせて10チームにおいて11人いた。
ノウハウの活用状況・活用方針	3回目となる平成30年度においては、4つの具体的な課題に絞った形のテーマ設定とし、フィールドワークの機会を2回設け参加チームがいずれかを選択する方式とした。

③ 外部評価結果の反映	
平成29年度外部有識者評価委員会における意見	意見への対応
今後とも若い世代のアイデアを積極的に活用するとともに、住民や町内事業者また高校生や中学生への広がりを意識して実施されたい。	住民グループによる政策提言の募集を行う。

④ 事業成果
これまで約120名の学生が参加し、未来戦略に基づきまちづくりを進める町の取り組みを町内外にPRできた。また、町外の若者の目線による16件の政策提言があり、その中から6件の事業が具体化しており、新たな気づきの活用や町の施策展開の多様化につながっている。

⑤ 内部評価結果
KPIについては、概ね達成に向け推移している。 提案された政策の活用にあたっては、事業効果や実現性を検証し、場合によっては修正を加えて事業化を検討する必要がある。

外部有識者評価委員会の結果	
【評価結果・指摘】 政策発表会を観覧する町民を増やし、参加学生との交流が今後のまちづくりにつながるよう図られたい。 地元の高校生の発想や視点も参考にして取り組まれたい。 参加学生が継続的に町との関わりを持ち、関係人口につながる仕掛けづくりに取組まれたい。	


整理番号	3-④	担当課	総合政策課、学校教育課
------	-----	-----	-------------

戦略分類	戦略3 「若さ」集結！みなぎる活力創生戦略！		
------	------------------------	--	--

戦略事業名	④ 都市交流活動支援事業		
-------	--------------	--	--

予算事業名	—		
-------	---	--	--

平成29年度実績額	—	平成30年度予算額(6月補正後)	—
-----------	---	------------------	---

	H27	H28	H29
事業の概要（実績）	<p>町内で開催される各種イベントを広く町内外から様々な形で応援していただくことを目的に、平成27年度よりイベントサポーターの設置を開始した。</p> <p>39人の登録があり、メール送信により年間29回の情報提供を行った。</p>	<p>新たに3人の登録があった一方で、転居により1人の脱退があったため、年度末時点の登録者数41人だった。</p> <p>メール送信により年間25回の情報提供を行った。</p>	<p>登録者数に変動はなかった。</p> <p>イベントサポーターへのメールによる情報提供については、町全体のメール配信サービスを開始したため、同サービスへの登録を促し、独自のメール送信は行わなかった。</p>
	 <p>「同窓会支援事業」チラシ</p>		

成果を測る指標 (KPI-数値目標)	当該事業の利用者数		⇒	現 状		KPI達成率 (%)
	基準値 (平成26年度)	—		H29年度末	0人	
	目標値 (平成31年度末)	5人		H30年6月末	0人	0.0

--	--	--	--	--	--	--

① 数値目標達成状況		達成が厳しい状況
達成状況の要因分析		達成に向けての今後の取組方針
<p>イベントに限定したサポーターであり、年間の情報量も限られるため、サポーター登録者のメリットが小さく、新たな登録者の確保が困難な状況となっている。</p>		<p>町の取組み全般に対する「おおいサポーター」制度に移行し、平成30年度から開始した同窓会支援事業の条件を県外参加者のサポーター登録とする。助成対象とした同窓会の年間件数を目標値に設定し、その数値を5件とする。</p>

② 事業で得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)	
ノウハウの内容	イベントに限定した情報では、提供できる情報量に限度がある。
ノウハウの活用状況・活用方針	イベントに限定した「イベントサポーター」から、町の取組み全般を対象とする「おおいサポーター」へ移行する。

③ 外部評価結果の反映	
平成29年度外部有識者評価委員会における意見	意見への対応
外部有識者による評価において、特段の言及はなかった。	—

④ 事業成果
41名のイベントサポーターの登録があり、メールによる町の情報発信を行うことができた。

⑤ 内部評価結果
イベントサポーターの登録者数が伸びていない状況なので、町のメール配信サービスとの連携を図るとともに、制度の見直しが必要である。

外部有識者評価委員会の結果

【評価結果・指摘】

Uターンを考えている人に対して、町の相談窓口の周知・広報に努められたい。
 転入数が転出数を上回っている理由の分析は重要であり、転入者へのアンケートの分析を実施されたい。
 KPIを「同窓会支援事業の助成を受けた同窓会の件数」に変更し、平成31年度末の数値目標を「累計10件」とする。

整理番号	3-⑥-1	担当課	総合政策課
------	-------	-----	-------

戦略分類	戦略3 「若さ」集結！みなぎる活力創生戦略！
------	------------------------

戦略事業名	⑥ おおい町戦略的PR事業
-------	---------------

予算事業名	おおい町戦略的PR事業
-------	-------------

平成29年度実績額	12,055,108円	平成30年度予算額(6月補正後)	6,813,000円
-----------	-------------	------------------	------------

事業の概要(実績)	H27	H28	H29
	—	日本全国の方々に効果的に「おおい町」というブランドを知ってもらい、認知度の向上を図ることを目的に、プロモーション映像を制作し、インターネットや屋外放映設備などで放映を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・ウーマンラッシュアワーによる町民参加型の『おおい町大討論会』の開催 ・町内の中学生を対象とした『ウーマンラッシュアワーによる中学生夢講演会』の開催



討論会



講演会

成果を測る指標 (KPI・数値目標)	動画配信サイト(YouTube)における動画視聴回数		⇒	現 状		KPI達成率 (%)
	基準値 (平成26年度)	—		H29年度末	8,832回	8.8
	目標値 (平成31年度末)	累計 100,000回			ツイッターアプリ 520,087回	520.0
				H30年6月末	9,857回	9.8
		ツイッターアプリ 520,087回	520.0			

① 数値目標達成状況		達成が厳しい状況
達成状況の要因分析		達成に向けての今後の取組方針
<p>事業1年目は、動画配信でのPR活動を行ったが、視聴回数があまり伸びなかった。そのため、2年目は新たな動画制作は行わず、イベント等によるPR活動に切り替え、今後も新たな動画制作を予定していないため、これ以上視聴回数が伸びることは見込めない。</p>		<p>KPIについては、動画の視聴回数となっているが、1年目のノウハウや外部組織委員会の意見等を取入れ、動画の視聴回数に囚われず、おい町をPRするための最善策を検討し実施していく。</p>
② 事業で得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)		
ノウハウの内容	1年目に、町のPVを作成するために出演者を町内から募集した結果、住民参加型のPVを作成することができた。	
ノウハウの活用状況・活用方針	上記のとおり、町民参加型の事業を目指し、現在、おい町の若者で組織される「おい町未来仕掛け人会議」の皆さんに『おい町大討論会』の企画・運営を行ってもらった。	
③ 外部評価結果の反映		
平成29年度外部有識者評価委員会における意見	意見への対応	
より身近で現実的である関西方面への積極的な発信を行ってほしい。	2年目は、反映することができなかったが、3年目でテレビ番組を使ってのPRを考えている。関西・中京圏に放映していきたい。	
④ 事業成果		
<p>町観光PR大使のウーマンラッシュアワーによる『おい町大討論会』を開催し、その様子をツイッターで生配信することで、町外に町を広くPRすることができた。</p> <p>『ウーマンラッシュアワーによる中学生夢講演会』では、将来の情報発信者である地元中学生が、町の“すばらしさ・誇り”を再認識するとともに、メディアに取り上げられることで町のPRにつながった。</p>		
⑤ 内部評価結果		
<p>動画のテーマとしている選挙の投票が終了した後も配信を行っている状況であり、配信開始から長期化している現状等を踏まえ、KPIの見直しを行う必要がある。</p>		

外部有識者評価委員会の結果

【評価結果・指摘】

地元関係者が意欲を持って参画できるよう、町内への経済効果が見込まれる仕組みを取り入れた観光PR及び情報発信を図られたい。

町単独の事業に加え、周辺地域と連携した取り組みも実施されたい。

KPIを「観光客入込数」に変更し、平成31年度の数値目標を「年間130万人」とする。

整理番号	3-⑥-2	担当課	商工観光振興課
------	-------	-----	---------

戦略分類	戦略3 「若さ」集結！みなぎる活力創生戦略！
------	------------------------

戦略事業名	⑥ おおい町戦略的PR事業
-------	---------------

予算事業名	うみんぴあ大飯事業
-------	-----------

平成29年度実績額	3,996,000円	平成30年度予算額(6月補正後)	4,000,000円
-----------	------------	------------------	------------

事業の概要(実績)	H27	H28	H29
	<p>道の駅うみんぴあ大飯において、賑わい創出イベントを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅うみんぴあ大飯年間来館者数 323,130人 賑わい創出イベント開催状況 サザエ&岩ガキまつり 5,672人 2周年記念イベント 15,773人 きのこ祭り 3,398人 	<p>おおい町出身の芸能人であるウーマンラッシュアワーをポスターモデルとして起用した観光ポスターを作製し、町の認知度の拡大に取り組んだ。</p> <p>道の駅うみんぴあ大飯において、賑わい創出イベントを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅うみんぴあ大飯年間来館者数 309,002人 賑わい創出イベント開催状況 サザエ&岩ガキまつり 6,072人 3周年記念イベント 4,518人 きのこ祭り 2,480人 	<p>関西を中心にポスター掲出を実施し、町のPRに努めた。</p> <p>道の駅うみんぴあ大飯において、賑わい創出イベントを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅うみんぴあ大飯年間来館者数 298,238人 賑わい創出イベント開催状況 サザエ&岩ガキまつり 5,917人 秋の大感謝祭 4,683人 きのこ祭り 1,595人 いちご祭り 2,637人



賑わい創出イベント

成果を測る指標(KPI・数値目標)	動画配信サイト(YouTube)における動画視聴回数		⇒	現 状		KPI達成率(%)
	基準値(平成26年度)	目標値(平成31年度末)		H29年度末	H30年6月末	
	—	累計 100,000回		8,832回	9,857回	8.8
				Twitterアフライ 520,087回	Twitterアフライ 520,087回	520.0
						9.8
						520.0

① 数値目標達成状況 達成が厳しい状況

達成状況の要因分析	達成に向けての今後の取組方針
<p>事業1年目は、動画配信でのPR活動を行ったが、視聴回数があまり伸びなかった。そのため、2年目は新たな動画制作は行わず、イベント等によるPR活動に切り替え、今後も新たな動画制作を予定していないため、これ以上視聴回数が伸びることは見込めない。</p>	<p>KPIについては、動画の視聴回数となっているが、1年目のノウハウや外部組織委員会の意見等を取入れ、動画の視聴回数に囚われず、おい町をPRするための最善策を検討し実施していく。</p>

② 事業で得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)

ノウハウの内容	<p>認知度の高いお笑い芸人をポスターに起用することで、マスコミやインターネット等で広く情報発信する機会を得ることができる。</p>
ノウハウの活用状況・活用方針	<p>ポスター作成にあたっては、見る人に如何にインパクトを与えるかが重要であるため、今後のポスター作製においてもその点を十分考慮してデザイン等を検討していきたい。</p>

③ 外部評価結果の反映

平成29年度外部有識者評価委員会における意見	意見への対応
<p>今後はより身近で現実的である関西方面への積極的な発信を行ってほしい。</p>	<p>関西のJR駅構内や高速道路SAにポスター掲出を実施し、町のPRに努めた。</p>

④ 事業成果

認知度の高いお笑い芸人をポスターに起用し、平成28年度には観光PR大使任命式を東京都の「南青山291」において開催することにより、マスコミを通じてインターネット等で広く町をPRすることが出来た。また、ファンを中心とする若い世代の人たちにもおい町に関心を持ってもらうことが出来たと考える。道の駅うみんぴあ大飯において賑わい創出イベントを開催し、町の特産品等を広くPRすることによって本町の認知度の向上に努めた。

⑤ 内部評価結果

動画のテーマとしている選挙の投票が終了した後も配信を行っている状況であり、配信開始から長期化している現状等を踏まえ、KPIの見直しを行う必要がある。

外部有識者評価委員会の結果

【評価結果・指摘】
 地元関係者が意欲を持って参画できるよう、町内への経済効果が見込まれる仕組みを取り入れた観光PR及び情報発信を図られたい。
 町単独の事業に加え、周辺地域と連携した取り組みも実施されたい。
 KPIを「観光客入込数」に変更し、平成31年度の数値目標を「年間130万人」とする。


整理番号	3-⑦	担当課	電子情報課
------	-----	-----	-------

戦略分類	戦略3 「若さ」集結！みなぎる活力創生戦略！
------	------------------------

戦略事業名	⑦ いきいきホームページ事業
-------	----------------

予算事業名	ホームページ運営事業
-------	------------

平成29年度実績額	5,454,164円	平成30年度予算額(6月補正後)	4,984,000円
-----------	------------	------------------	------------

	H27	H28	H29
事業の概要(実績)	<p>おい町ホームページ利用促進連絡会において、ホームページのリニューアルについて検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの問題点・課題の洗い出し ・問題点・課題の解決方法 ・新たに追加する機能などの検討 ・トップページのリニューアルポイントの検討 ・住民アンケートの実施 <p>【年間アクセス数 122,305件】</p>	<p>町ホームページを平成29年3月1日からリニューアルし「観光サイト」「子育てサイト」「移住定住サイト」「防災サイト」の4つのサイトを新設、ホームページから登録できる「メール配信サービス」を設けた。</p> <p>また、スマートフォンなどの画面サイズに合わせて最適化する機能を付加するとともに、外国語(英語、中国語、韓国語、ドイツ語、タガログ語)の翻訳機能を設け、利活用しやすいホームページの構築を行った。</p> <p>【年間アクセス数 123,038件】</p>	<p>町職員と住民等が町内行事等の情報を共有し、年間スケジュールにおける日程調整等での有効活用や、町内外の方への町のイベント情報発信の一つとして「生活イベントカレンダー」の改修を行った。</p> <p>町職員に対して、各担当課で把握するイベント情報を積極的に掲載するよう周知徹底したが、職員の意識が低いため掲載率が悪く、ゴミや健診カレンダーとなっている。</p> <p>【年間アクセス数 122,618件】</p>
			

成果を測る指標(KPI・数値目標)	ホームページ(トップページ)アクセス数		現 状		KPI達成率(%)	
	基準値(平成26年度)	152,000件	⇒	H29年度末		122,618件
	目標値(平成31年度末)	300,000件(倍増)		H30年6月末	60,687件	20.2

① 数値目標達成状況 達成が厳しい状況

達成状況の要因分析	達成に向けての今後の取組方針
<p>今回、リニューアルした町のホームページは、以前よりは見やすくなったと評価を受けているが、更新されていない古い記事の掲載や、町のイメージとなるトップページでの「町政情報」における掲載記事の不足が要因と考える。</p> <p>しかし、リニューアルした年のH29年6月末(28,500件)と比べると、観光サイトへのアクセスが増加したことにより、対前年比アクセス数は16.8%(+4,804件)上昇した。</p>	<p>おい町の各種イベント等の情報について「生活イベントカレンダー」を有効活用し、広く町内外の方々へ情報提供できるよう町職員に対し、積極的な情報掲載を周知徹底するとともに、電子情報課が各部署から告知放送(定時放送)依頼を受けた内容について、ホームページへの掲載を注視し、未掲載であれば担当部署へ連絡する。</p> <p>電子情報課として、公開されているすべての記事を定期的にチェックし、各部署へ指示・指導する。</p> <p>また、「町長通信」への積極的な掲載を周知するとともに、ホームページ研修会を年1回実施し、職員一人一人の意識の向上を図る。</p>

② 事業で得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)

ノウハウの内容	<p>事業運営の中で常にPDCA改善を進めていかなければKPI達成に繋がらないことから、毎月のホームページのアクセス解析を分析するなど、運営管理側からホームページ掲載への意識が高くなった。</p>
ノウハウの活用状況・活用方針	<p>職員におけるノウハウの蓄積に必要な研修会の開催や、課題などを協議する庁内会議を立ち上げ、観光客と同様、ホームページにおける、町外からの訪問者を増やすための情報提供に努める。</p>

③ 外部評価結果の反映

平成29年度外部有識者評価委員会における意見	意見への対応
<p>KPIの30万件は少ない感じがあるが、まずは達成に向けて取組んでほしい。</p>	<p>アクセス数向上のために他市町の掲載内容等を参考にしながら、知りたい情報を的確に提供できる記事の掲載に努める。</p>

④ 事業成果

ホームページをリニューアルしただけでは、アクセス数の増加につながらないことから、全職員が統一した意識で町の情報を発信していくための研修会の開催や庁内会議の立ち上げが必要であり、電子情報課におけるアクセス内容の分析や公開記事のチェックが重要であると理解し、今後のKPI・数値目標の達成に向け意識が高まった。

⑤ 内部評価結果

KPIの達成に向け、全課、全職員が、ホームページの内容充実と掲載記事の適宜更新に対する意識を高め実行する必要がある。

外部有識者評価委員会の結果

【評価結果・指摘】
 アクセス数が高い水準で推移していることに対して評価ができる。
 今後は、HPの内容がユーザーのニーズに叶ったものになっているか否かを検証し、不足する情報等を補っていく必要があるのではないか。



整理番号	3-⑧	担当課	商工観光振興課
------	-----	-----	---------

戦略分類	戦略3 「若さ」集結！みなぎる活力創生戦略！		
------	------------------------	--	--

戦略事業名	⑧ 町内周遊観光プログラムの開発及び実施		
-------	----------------------	--	--

予算事業名	グリーン・ツーリズム推進事業		
-------	----------------	--	--

平成29年度実績額	510,000円	平成30年度予算額(6月補正後)	436,000円
-----------	----------	------------------	----------

	H27	H28	H29
事業の概要（実績）	<p>おい町グリーンツーリズム推進委員会において、既存の体験メニューを活用した周遊観光プログラムの検討に取り組んだ。</p>	<p>おい町グリーンツーリズム推進委員会がおこなう、体験型グリーンツーリズムによる町内周遊観光プログラムの企画・実施に対して助成した。</p>	<p>おい町グリーンツーリズム推進委員会がおこなう、体験型グリーンツーリズムによる町内周遊観光プログラムの企画・実施に対して助成した。</p>
	  <p>「スマイルショットツアー」チラシ</p>		

成果を測る指標 (KPI・数値目標)	プログラム開発数		⇒	現 状		KPI達成率 (%)	
	基準値 (平成26年度)	—		H29年度末	3件		60.0
	目標値 (平成31年度末)	累計 5件		H30年6月末	3件		60.0

① 数値目標達成状況		達成が見込める状況
達成状況の要因分析	達成に向けての今後の取組方針	
<p>おい町グリーンツーリズム推進委員会において、「スマイルショットツアー」と題し、町内の体験メニュー等を取り入れた体験ツアーをH28年度に2回、平成29年度は1回実施することが出来た。</p>	<p>町内の観光資源を組み入れたコースを造成し、「スマイルショットツアー」を継続して実施していきたい。</p>	

② 事業で得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)		
ノウハウの内容	ツアー参加者を対象にアンケート調査を実施し、体験プログラムの満足度や顧客ニーズの情報収集を行っている。	
ノウハウの活用状況・活用方針	アンケート結果により集積した各種情報を活かし、より魅力的なツアー実施に向けたツアープログラムの造成に努めたい。	

③ 外部評価結果の反映		
平成29年度外部有識者評価委員会における意見	意見への対応	
外部有識者による評価において、特段の言及はなかった。	—	

④ 事業成果		
<p>ツアー参加者を対象としたアンケートの実施や、意見交換を行い町内周遊観光プログラムの開発を始めとするツアー実施に向けた情報収集、検証を行うことが出来た。</p>		

⑤ 内部評価結果		
<p>KPIについては目標達成に向け着実にプログラムが開発されている。プログラムのPRに努め、参加者数の拡大を図る。</p>		

外部有識者評価委員会の結果		
<p>【評価結果・指摘】 地元関係者が意欲を持って参画できるよう、町内への経済効果が見込まれる仕組みを取り入れた観光PR及び情報発信を図られたい。</p>		

整理番号	3-⑨	担当課	農林水産振興課
------	-----	-----	---------

戦略分類	戦略3 「若さ」集結！みなぎる活力創生戦略！		
------	------------------------	--	--

戦略事業名	⑨ 体験農園整備支援事業		
-------	--------------	--	--

予算事業名	体験農園整備支援事業		
-------	------------	--	--

平成29年度実績額	269,224円	平成30年度予算額(6月補正後)	1,639,000円
-----------	----------	------------------	------------

事業の概要(実績)	H27	H28	H29
	—	<p>町内の遊休農地を有効活用し、体験農園を整備することで、交流人口の増加を目指す。</p> <p>①休耕田を活用し、自然薯の試験栽培を実施(名田庄三重 さきやま農園)</p> <p>(実績) ①自然薯200本栽培 県外からの交流人口(学生等)100人</p>	
		<p>①休耕田を活用し、自然薯の試験栽培を実施(名田庄三重 さきやま農園、本郷)</p> <p>(実績) ①自然薯 名田庄200本栽培、本郷200本栽培 県外からの交流人口(学生等)400人</p>	



成果を測る指標(KPI・数値目標)	体験農園利用者数		⇒	現 状		KPI達成率(%)
	基準値(平成26年度)	—		H29年度末	400人	
	目標値(平成31年度末)	年間 1,000人		H30年6月末	100人	10.0

① 数値目標達成状況		達成が厳しい状況
達成状況の要因分析		達成に向けての今後の取組方針
取組初年度からH29までは、自然薯栽培用の体験農園のみであったため、利用者が伸び悩んだ。		<ul style="list-style-type: none"> ・体験農園数を増加させる ・他品目の栽培体験を試行

② 事業で得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)	
ノウハウの内容	体験農園圃場の有効活用(農園の管理方法、利用者の増加に向けた取組)
ノウハウの活用状況・活用方針	体験圃場の生産物拡大 体験農園圃場数の確保 栽培品目の多品目化

③ 外部評価結果の反映	
平成29年度外部有識者評価委員会における意見	意見への対応
外部有識者による評価において、特段の言及はなかった。	—

④ 事業成果
<p>これまでの取組により、約400人の農園利用者があった。 自然薯の収穫祭を通じて、参加者と地域の人との交流が芽生えた。</p>

⑤ 内部評価結果
<p>KPIの達成が厳しい状況であることから、利用者数の拡大に向け、体験農園数の増設や体験の多品目化を図る必要がある。</p>

外部有識者評価委員会の結果	
<p>【評価結果・指摘】 体験者がおおい町に関心を持ち、以降もおおい町に継続的に関われる取組みに一層尽力されたい。</p>	

整理番号	3-⑩	担当課	商工観光振興課、生涯学習課
------	-----	-----	---------------

戦略分類	戦略3 「若さ」集結！みなぎる活力創生戦略！
------	------------------------

戦略事業名	⑩ おおい町の魅力を発掘・発信！講座
-------	--------------------

予算事業名	—
-------	---

平成29年度実績額	—	平成30年度予算額(6月補正後)	—
-----------	---	------------------	---

事業の概要（実績）	H27	H28	H29
	—	おおい町観光協会が、町のイベントサポーターを対象に実施する観光情報発信事業に対して助成した。	より効果的な事業実施に向けて検討した。



「町内魅力発見事業」チラシ

成果を測る指標 (KPI・数値目標)	イベントサポーターの数		⇒	現 状		KPI達成率 (%)	
	基準値 (平成26年度)	—		H29年度末	41人		13.7
	目標値 (平成31年度末)	300人		H30年6月末	41人		13.7

① 数値目標達成状況		達成が厳しい状況
達成状況の要因分析		達成に向けての今後の取組方針
<p>既に登録済みのイベントサポーターに向けた事業開催の情報発信も行ったが、思うように参加していただくことが出来なかったことから、イベントサポーター増員の効果があまり得られなかった。</p>		<p>イベントサポーターに限らず、SNS等を活用して、より広くおおい町の魅力が情報発信できる取組を実施する。</p>
② 事業で得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)		
ノウハウの内容	事業実施にあたっては、広報の仕方や事業の内容をより魅力あるものとしないと、多数の参加者を得ることが出来ない。	
ノウハウの活用状況・活用方針	より多くの参加者が得られるような魅力ある事業の在り方を検討する。	
③ 外部評価結果の反映		
平成29年度外部有識者評価委員会における意見		意見への対応
外部有識者による評価において、特段の言及はなかった。		—
④ 事業成果		
<p>すでに登録されている町イベントサポーターをはじめとし、イベントサポーターに興味のある参加者を募り、情報発信や新たなイベントサポーターの確保につなげるための「町内魅力発見事業」を実施し、町内外から9名の参加者を受け入れた。</p>		
⑤ 内部評価結果		
<p>イベントサポーター制度の見直しとともに、KPIの再検討が必要である。</p>		

外部有識者評価委員会の結果

【評価結果・指摘】

地元関係者が意欲を持って参画できるよう、町内への経済効果が見込まれる仕組みを取り入れた観光PR及び情報発信を図られたい。

KPIを「町ホームページ観光情報サイトへのアクセス数」に変更し、平成31年度末の数値目標を「累計4万件」とする。

整理番号	3-⑪	担当課	電子情報課
------	-----	-----	-------

戦略分類	戦略3 「若さ」集結！みなぎる活力創生戦略！
------	------------------------

戦略事業名	⑪ Wi-Fi環境整備事業
-------	---------------

予算事業名	—
-------	---

平成29年度実績額	—	平成30年度予算額(6月補正後)	—
-----------	---	------------------	---

事業の概要（実績）	H27	H28	H29
	—	<p>【概要】 町内の観光施設・災害時の避難所などのWi-Fi環境を整備することで、観光客の利便性の向上及び観光客誘致を推進するとともに、住民の安心・安全の観点から、災害時の避難所についてもWi-Fi環境を整備する。</p> <p>【実績】 公民館や図書館など町が整備したもの、県で整備された「こども家族館」、指定管理者等が整備した「道の駅うみんぴあ」など14箇所で整備され、サービスが提供された。</p>	<p>【概要】 町内の観光施設・災害時の避難所などのWi-Fi環境を整備することで、観光客の利便性の向上及び観光客誘致を推進するとともに、住民の安心・安全の観点から、災害時の避難所についてもWi-Fi環境を整備する。</p> <p>【実績】 平成30年度での設置に向け、各担当部署と調整を行い、財源確保のため国(総務省)の補助制度等の調整を行った。</p>



設置例
(こども家族館)

成果を測る指標 (KPI・数値目標)	町内施設のWi-Fiスポット整備箇所数		⇒	現 状		KPI達成率 (%)
	基準値 (平成26年度)	1箇所		H29年度末	14箇所	
	目標値 (平成31年度末)	20箇所		H30年6月末	14箇所	70.0

① 数値目標達成状況		達成が見込める状況
達成状況の要因分析		達成に向けての今後の取組方針
KPIの数値目標設定以後、公民館等へのWi-Fi整備が進められた。		避難所8箇所、公共施設5箇所の計13箇所の設置に向け、総務省の補助金申請を行い、交付決定後に整備する。

② 事業で得られたノウハウ(成果又は反省から得られた情報や知識)	
ノウハウの内容	町内におけるWi-Fi環境の調査から、有線や防災無線以外による町内外者の情報連絡(入手)手段としてのWi-Fi設備の必要性を理解した。
ノウハウの活用状況・活用方針	今後、国内外からの観光客の誘致のため、数値目標以上の環境整備に努めたい。

③ 外部評価結果の反映	
平成29年度外部有識者評価委員会における意見	意見への対応
外部有識者による評価において、特段の言及はなかった。	—

④ 事業成果
Wi-Fi整備が図られることにより、災害時の避難所における町民の情報連絡手段の多様化が図られる。

⑤ 内部評価結果
未整備施設における早期整備はもとより、Wi-Fi環境を活かしたソフト面の取組みに係る計画策定が必要である。

外部有識者評価委員会の結果	
【評価結果・指摘】 町内外ユーザーの意見が聞ける機会があれば、同事業の評価や課題が明確になるように思われる。	